

00442

鳥取縣公報

本書ノ大キサハ國定規格A5判

昭和十六年五月二十七日

第千二百三十六號

火曜日

縣令

◆鳥取縣令第二十二號

自動車交通事業法施行細則左ノ通之ヲ定ム

昭和十六年五月二十七日

鳥取縣知事 八田三郎

三

郎

自動車交通事業法施行細則

第一條 自動車交通事業法及其ノ附屬命令ニ依リ鐵道大臣内務大臣、又ハ知事ニ提出スベキ申請書届書其ノ他ノ書類ハ左ノ各號ニ依リ主タル事務所又ハ營業所ヲ管轄スル警察署長ヲ經由スベシ但シ本縣内ニ事務所又ハ營業所ヲ有ゼガル場合並ニ自動車ノ登録及自動車道事業ニ關スルモノニ在リテハ直接知事ニ之ヲ提出スベシ此ノ場合ニ於テハ左ノ各號ニ依リ提出スベキ書類ノ通數ハ各一部ヲ減ズルモノトス

一 鐵道大臣及内務大臣ニ提出スベキ申請書ニ在リテハ正副

鳥取縣公報 每週曜日發行

(休日ニ當ル) 時ハ翌日

第千二百三十六號

昭和十六年五月二十七日

(第三種郵便物認可)

五通届書、其他ノ書類ニ在リテハ正副四通
 二 鐵道大臣ニ提出スベキ申請書ニ在リテハ正副四通、届書其他ノ書類ニ在リテハ正副三通
 三 鐵道大臣及知事ニ提出スベキ届書其ノ他ノ書類ニ在リテハ正副三通
 四 知事ニ提出スベキ申請書ニ在リテハ正副三通、届書其ノ他ノ書類ニ在リテハ正副二通
 他府縣ニ關係ヲ有スルトキ其ノ他必要アル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ノ通數増加ヲ命スルコトアルベ

シ

第二條 申請者未未成年者ナルトキハ法定代理人、準禁治產者ナルトキハ保佐人、妻ナルトキハ夫ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ、代理人ナルトキハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ添附ベシ、但シ其ノ關係ヲ明示シ連署ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第三條 申請者又ハ事業者死亡シ若ハ所在不明トナリタルトキハ戸主又ハ同居ノ家族、法人解散シタルトキハ清算人ニ於テ運帶ナク其ノ旨知事ニ届出ヅベシ

第四條 土地又ハ建物（自動車交通事業ニ關シ認可又ハ許可ヲ要スル場合ニ限ル）ニシテ他人ノ所有ニ係ルモノノ使用セントスルトキハ其ノ所有者又ハ管理者ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スペシ

第五條 事業者ハ其ノ事業ニ屬スル車輛ヲ當該事業以外ノ用途ニ

使用スルコトヲ得ズ但シ事業ノ經營ニ支障ナキ場合ニ於テ特ニ出發地ヲ管轄スル警察署長ノ許可ヲ受ケ一時他ノ用途ニ使用スルハ此ノ限り在ラズ此ノ場合ニ於テ旅客自動車運輸事業ニ屬スル車輛ハ豫備車ノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ

前項但書ノ許可申請書ニハ使用車輛ノ車輛番號、出發地、目的地、運送スル旅客又ハ物品ノ種類及數量、運賃運輸ニ關スル料金、使用期日及事由並ニ其ノ車輛ガ旅客自動車運輸事業

ニ屬スルモノナルトキハ尙豫備車總數ヲ記載スベシ

第一項但書ノ許可ヲ受ケタルトキハ車輛ノ運轉中其ノ許可證ヲ携帶スルノ外其ノ車輛ノ外部見易キ箇所ニ別記第一號様式ニ依ル標識ヲ掲出スベシ

第六條 一般ノ道路及一般通行ノ用ニ供スル通路ノ管理者自動車交通事業法施行規則第四條ノ規定ニ依リ意見書ヲ提出スルトキハ道路現況調書ヲ添附スベシ

第七條 旅客自動車運輸事業者又ハ路線旅客自動車運送事業者一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル通路ノ工事其他已ムヲ得ザル事由ニ因リ一時他ノ道路等ニ依リ其ノ車輛ヲ運行セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クベシ

一 變更ノ事由
二 變更期間
三 變更箇所ヲ明示シタル圖面

第八條 旅客自動車運輸事業ニ於テ運轉中ノ車輛ニ故障ヲ生シ其ノ運行ヲ中止シタルトキハ其ノ事業者ハ直ニ之ニ代ルベキ車輛ノ配置ヲ爲スベシ

第九條 旅客自動車ノ内部ニハ其ノ見易キ箇所ニ運轉士及車掌ノ氏名ヲ揭示スベシ

第十條 普通旅客自動車運送事業ノ用ニ供スル自動車ニシテ走行

距離ニ依リテ運賃ヲ算定スルモノニ在リテハ旅客ノ見易キ箇所ニ「タキシーメータ」ヲ裝置シ又ハ之ヲ變更シタルトキハ検査ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

トヲ得

「タキシーメータ」ヲ裝置シ又ハ之ヲ變更シタルトキハ檢

査ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

車輛ニ裝置シタルトキハ其ノ進行ニ障碍ナキ様徐行又ハ停車シ若ハ避

ケ其ノ車室内ノ見易キ箇所ニ運賃表ヲ掲示シテ之ニ代フルコ

トヲ得

一 旅客自動車ニ在リテハ洋服ヲ用ヒ清潔ニシテ且ツ端正ニ

ト
二 旅客自動車ニ在リテハ客ヲ客席ノ外ニ乗車セシメザルロ

ト
三 扉ヲ開放シタル儘運行セザルコト

四 定員外ニ客ヲ乗車セシメザルコト但シ十二歳未満ノ者ハ二人ヲ以テ一人ト看做ス四歳未満ノ者ハ定員ニ算入セズ

五 自動車二輛以上連續シテ進行スルトキ後車ハ前車ヨリ二二米以上ノ距離ヲ保ツコト

六 自動車運轉ニ關シ人畜其ノ他ニ迷惑ヲ及ボサザル様注意スルコト

第十三條 助手又ハ車掌ヲ雇入レタルトキハ五日以内ニ其ノ本籍ノ本籍、住所、氏名、生年月日、免許證番號並ニ前運轉地ヲ記載シ知事ニ届出ヅベシ運轉士ヲ解雇シ又ハ運轉士死亡シ若ハ所在不明トナリタルトキ亦同ジ

第十二條 事業者自動車運轉士ヲ雇入レタルトキハ五日以内ニ其於テ旅客ヲ乗降セシメザルコト
十三 警察官吏ヨリ舉手其ノ他ノ方法ニヨリ停車ヲ命ゼラレタルトキハ直ニ停車スルコト

ニ届出ヅベシ之ヲ解雇シ又ハ死亡若ハ所在不明トナリタルトキ亦同ジ

第十四條 事業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ助手又ハ車掌トシテ就業セシムコトヲ得ズ

一 十四歳未満ノ者

二 身元詳カナラザル者

三 傳染性疾患ヲ有スル者

四、精神病者、聾者又ハ啞者

五、其ノ他知事ニ於テ不適當ト認ムル者

第十五條 事業者ハ別記第二號様式ニ依リ從業者名簿ヲ備ヘ運轉士助手又ハ車掌ヲ雇入レ若ハ解雇シ其ノ他記載事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ遲滞ナク整理シ置クベシ但シ他ノ法令ニ依リ之ニ代フルベキ名簿ヲ備フルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條 貨物自動車運送事業者ハ別記第三號様式ニ依ル運賃及・運輸ニ關スル料金ノ領收書ヲ發行スベシ

第十七條 貨物自動車ニハ車体右側見易キ箇所ニ車輛重量及最大積載量ヲ表示スベシ

第十八條 法人タル事業者ハ左ノ場合ニ於テハ登記簿ノ謄本ヲ添附シ遅滞ナク届出ヅベシ

一 代表者ニ異動ヲ生ジ又ハ代表者ノ氏名ヲ變更シタルトキ

二 定款ヲ變更シタルトキ

第十九條 自動車運送事業者、運轉士、助手、又ハ車掌ノ服務、給與、及懲戒ニ關スル規程ヲ定メタルトキハ遲滞ナク知事ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第二十條 事業者ハ左ノ場合ニ於テハ遲滞ナク知事ニ届出ヅベシ

一 自動車道ノ工事ニ着手シタルトキ

二 自動車道ノ工作物其ノ他ニ事故アリタルトキ

第三十一條 自動車交通事業法第二十二條第一項ノ規定ニ依リ土地立入又ハ土地使用ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左記事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一 自動車道ノ種類

二 立入又ハ使用ノ目的

三 立入又ハ使用スベキ土地ノ占有者ノ住所及氏名商號又ハ名稱

四 立入又ハ使用スベキ土地ノ區域

五 立入又ハ使用スベキ期間

第二十二條 自動車交通事業法第二十二條第四項ノ規定ニ依リ裁定ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一 相手方ノ住所及氏名、商號又ハ名稱

第二十三條 事業者自動車運送事業組合又ハ自動車運送事業組合聯合會ニ非ザル團體ヲ結成シタルトキハ代表者ハ其ノ規約、目的、事業、構成員ノ資格及數ヲ遲滞ナク知事ニ届出ヅベシ

第二十四條 自動車々庫ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場所ニ於テハ之ヲ設置スルコトヲ得ズ但シ保安上支障ナキトキハ知事ノ許可ヲ受ケ之ニ依ラザルコトヲ得ズ

一 車庫前面ノ空地ハ道路ノ幅員ヲ併セテ六米未満ノ場所

二 學校、病院、幼稚園、橋梁、隧道、路面電車等ノ停留所ヨリ二千メートル以内ノ場所

三 道路ノ交叉點又ハ曲角ヨリ十五メートル以内ノ場所

四 其ノ他交通上支障アル場所

第五條 車庫ノ構造並ニ設備ハ特別ノ規定アル場合ノ外左ノ制限ニ從フベシ

一 床面ハ不滲透性物質ヲ以テ造リ且ツ適當ナル排水設備ヲ爲スコト

二 内面周壁及屋根ハ不燃性物質ヲ以テ被覆スルコト

三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四 車庫内ニ於テハ喫煙セザルコト

00446

02445

二 立入又ハ使用スベキ土地ノ區域

三 利用ノ方法及程度

四 立入又ハ使用スベキ期間

五 補償ニ關スル協議ノ顛末

第六條 車庫竣工シタルトキハ所轄警察署長ニ届出デ検査ヲ

前項各號ニ依リ難キトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ許可ヲ受クベシ

第二十六條 車庫竣工シタルトキハ所轄警察署長ニ届出デ検査ヲ

受クルニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第二十七條 車庫内ニ於テハ地下埋設油槽其他保安上完全ナル油槽ニ直結シ漏洩ノ虞ナキ給油管ニ依ルノ外自動車ニ給油スルコトヲ得ズ

第二十八條 車庫ニハ使用者ノ主タル事務所、氏名、商號又ハ名稱ヲ見易キ箇所ニ掲示スベシ

第二十九條 車庫ニ於テハ左ノ各號ヲ遵守スベシ

一 車庫ハ他ノ用途ニ使用セザルコト

二 車庫内ニ於テハ喫煙セザルコト

三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四 車庫内ニ於テハ喫煙セザルコト

五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

十 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

十一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

十二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

十三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

十四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

十五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

十六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

十七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

十八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

十九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

二十 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

二十一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

二十二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

二十三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

二十四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

二十五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

二十六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

二十七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

二十八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

二十九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

三十 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

三十一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

三十二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

三十三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

三十四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

三十五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

三十六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

三十七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

三十八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

三十九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四十 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四十一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四十二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四十三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四十四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四十五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四十六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四十七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四十八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

四十九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

五十 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

五十一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

五十二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

五十三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

五十四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

五十五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

五十六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

五十七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

五十八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

五十九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六十 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六十一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六十二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六十三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六十四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六十五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六十六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六十七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六十八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

六十九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七十 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七十一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七十二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七十三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七十四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七十五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七十六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七十七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七十八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

七十九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八十 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八十一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八十二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八十三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八十四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八十五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八十六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八十七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八十八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

八十九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九十 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九十一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九十二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九十三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九十四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九十五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九十六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九十七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九十八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

九十九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一〇 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百一九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二〇 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百二九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三〇 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三三 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三四 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三五 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三六 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三七 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三八 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百三九 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百四〇 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百四一 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

一百四二 車庫内ニ於テハ安全ナル燈火ノ外火氣ヲ使用セザルコト

<p

第三號 樣式

00449

貨物自動車運賃領收證							
荷主		殿					
住所							
作業時 業日	昭和年月日自午		時分至午		時分		
	車番	輛號	最積載量	擔當轉士	助手		
作業內容	品名	數量	運送區間 又ハ時間	一運送 行程杆	回數	特殊 作業	人夫
	運賃料金	基運	本質	割運	增質	特殊作業料	人夫
							合計額
上記ノ金額正ニ領收候也 昭和年月日							
記事							

◆鳥取縣告示第四百三十二號

價格等統制令第三條第一項ノ規定ニ依リ左記ノ通價格ヲ認可シ同條第二項ニ依リ指定地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ニシテ組合員ニ非ザル者ニ付テモ本認可價格ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十六年五月二十七日

鳥取縣知事 八田三郎

一 組合ノ名稱及地區

(イ) 名稱 鳥取縣斷熱煉瓦製造販賣組合
(ロ) 地區 鳥取縣一圓

二 構成員タル資格

地區内ニ於テ断熱瓦ノ製造又ハ販賣ヲナス者

三 統制令第二條第二項又ハ第三項ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

(イ) 類

断熱型打煉瓦、断熱粉粒及断熱モルタル販賣價格

品種 規格

單位

販賣價格

備考

断熱型打煉瓦 C 東京型 227 MM × 108 MM × 60 MM

断熱粉粒 C 正味 300g 同 同

断熱モルタル C 同 同

一本表價格ハ荷造付工場又ハ店先渡價格トス

(口) 實施ノ日 昭和十六年五月二十七日

四 認可ニ附シタル條件

(イ) 價格等統制上必要アルトキハ認可ヲ取消スコトアルベシ
(ロ) 認可價格及實施ノ日ヲ組合員ノ營業所ニ掲示スベシ

00451

(イ) 價格等統制上必要アルトキハ認可ヲ取消スコトアルベシ
(ロ) 認可價格及實施ノ日ヲ組合員ノ營業所ニ掲示スベシ

價格等統制令第三條第一項ノ規定ニ依リ左ノ通價格ヲ認可シ同條第二項ノ規定ニ依リ指定地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ニシテ組合員ニ非ザル者ニ付テモ本認可價格ヲ以テ指定期日ニ於ケル額ト看做ス

昭和十六年五月二十七日

鳥取縣知事 八 田 三 郎

一 組合ノ名稱及地區

(イ) 名稱 鳥取縣七島蠶網製造販賣業組合
(ロ) 地區 鳥取縣一圓

二 構成員タル資格

地區内ニ於テ七島蠶網ノ製造又ハ販賣ヲ業ト爲ス者

三 統制令第二條第二項又ハ第三項ノ額ニ代ルベキ額及其ノ實施ノ日

00452

品種	規	横格	單位	生產	販賣	卸賣	小賣
				大目	小目	價格者	價格
七島蠶網	大目	三尺五寸(十九本)	二尺五寸(十三本)	一枚	七錢三	八錢五	一錢
	小目	同 (二十三本)	同 (十六本)	同	一一、三	一二、八	一五、〇
本表價格ハ賣主庭先又ハ店先渡價格トス							
(ロ) 實施ノ日		昭和十六年五月二十三日					

四 認可ニ附シタル條件

(イ) 價格等統制上必要アルトキハ認可ヲ取消スコトアルベシ
(ロ) 認可價格及實施ノ日ヲ組合員ノ營業所ニ掲示スベシ

昭和十六年五月二十日左ノ者ニ對シ動力糾摺業免許證ヲ下附セリ
昭和十六年五月二十七日

免許證番號 住 所 氏 氏 直 直 美
一、三六二 氣高郡明治村松上六百四十三番合併地 松 浦 直 直 郎
鳥取縣知事 八 田 三 郎

◆鳥取縣告示第四百三十四號

鳥取縣公報 第千二百三十六號

昭和十六年五月廿七日

(第三種郵便物認可)

一一

戶柿松西岡大君村青井夜小松北松濱渡山岡大久
田田井村田谷野江木崎久畠島村島本邊田田保
馬正丈龜英清正光精義義正宗信藤政道久
喜藏廣實吉奏立三民雄一郎次敬亮敬雄郎敏
巖

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 氣 同 同 同 同 同 同 同 同 同

笛福阿近眞那勝岡堀石小菊加太岸安森井田
川永曾藤島須田田内田松川藤田村 部本上中
泰儀三孝啓政類國謙燕邦定茂良幸藤易哲
子親郎平治男藏藏藏載一謙子恂滿藏靈助

八頭郡醫師

岩美君醫術

00454

同 同 同 同 同 同 同 同 同

石岡岡牧松清竹稻中申後
河垣垣原野田野水本田富本藤
利真久賢太一大良

三二郎 郎夫 雄堅 明人 二三

◇鳥取縣告示第四百三十六號
國民體力法第九條ニ基キ昭和十六年度國民體力管理醫トシテ選任シタル者左ノ如シ
昭和十六年五月二十七日

鳥取縣知事 八田三郎
「貞ヲ充ツルノ外」ノ次ニ「官吏々員中、若クハ」ヲ加フ

00435

昭和十五年十二月鳥取縣告示第九百六十九號米穀管理事務取扱負設置要綱左ノ通改正ス
昭和十六年五月二十七日

00435

東伯郡醫師

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

根鳥松岡岡難景佐前中三藤涌涌原野本乾田目

鈴飼田本本波森木場原輪川谷田島多中野

勝秀昌甚由當森安慶衛松重良德祐正勘敏正

太 太 次 四

郎誠造六治卯郎市郎貞泰治治藏郎秋治夫三

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

西伯郡醫師

池小酒太佐松桐山中栗入山上森天宮岸米山橋

淵酒井田木本谷根井山江岡田野川本田耕田

丈正幸祐權伸幸光正政員百千博房恒

代 太

貴夫仁雄治郎治三藏光治秀吉茂三人民郎藏篤

00436

日野郡醫師

烟石三小岩安足安有角三藏都渡中龍萬作渡岡
田原原谷本次立田田宅内田邊西川田野都田
昌正金德龍二利茂梅弘定千一亞美祿
俊手義雄彦郎顯明松道亨榮實早壯穗雄元郎

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

西伯郡醫師

法佐上西赤荒池松富石戸隅小潮梅中細岩川須
櫛伯村木木田崎田原崎田谷原曾田崎上山
亮順勝榮磯米勇周茂喜廣馨竹良文綾
太 太 次
壽貞郎人郎郎肇市雄雄樹一義覺久逸勇郎子肇

00459

小型自動車
第五、六種
特殊自動車
含ム

六〇〇班以上
六〇〇班未滿

金五十圓以下
金十一圓以下

金六十圓以下
金一圓五十錢以下

金一圓三十錢以下

備考

一 一日貸切制及時間貸切制ハ左ノ場合ニ限ルモノトス

1 運送作業ノ性質分量等不明ニシテ距離制運賃ニ依リ難キ場合

2 其他當事者間ニ於テ一日貸切制又ハ時間貸切制ニ依ル特別ノ契約アリタル場合

二 一日貸切制十時間以内ト雖七十糸(特殊(牽引)自動車ハ四十糸、小型及特殊第五、六種自動車ハ五十糸)ヲ超エ又ハ七十糸(特殊(牽引)自動車ハ四十糸、小型及特殊第五、六種自動車ハ五十糸)以内ト雖十時間ヲ超ユル場合ニ於テハ左ノ標準ニ依リ割増金ヲ受クル事ヲ得ルモノトス但シ重複シテ收受スルコトヲ得ザルモノトス

1 十時間ヲ超ユル場合ハ三十分又ハ其ノ端數ヲ増ス但シ重複シテ收受スルコトヲ得ザルモノトス

2 走行七十糸ヲ越ユル場合ハ一糸迄ニ付金四拾錢以下但シ特殊(牽引)自動車ハ四十糸、小型及特殊第五、六種自動車ハ五十糸ヲ超ユル場合一糸迄ニ付金拾五錢以下

三 重量品、長大物品ノ運送ニシテ積卸シニ特別ノ設備又ハ技術ヲ要スルトキハ相當ノ作業料金ヲ受クルコトヲ得ルモノトス

四 貴重品、危険品、易損品、汚穢品其ノ他特殊扱ナヌベキ貨物並ニ長大物品ニシテ運送困難ナル場合ニ於テハ基本賃率ノ二割以内ノ割増運賃ヲ受クルコトヲ得ルモノトス

五 山間地方等自動車ノ運行著シク困難ナル場合ハ基本賃率二割以内ノ割増運賃ヲ受クルコトヲ得、但シ此ノ場合積雪時ナルトキハ三割以内ノ割増運賃ヲ受クルコトヲ得ルモノトス

前項自動車ノ運行著シク困難ナル場合並ニ積雪ノ程度ニ付テハ所轄警察署長ノ認定ヲ受ケタル場合ニ限ルモノトス

昭和十六年五月廿七日印刷

發行者 鳥取縣鳥取市東町
印刷所 鳥取縣氣高郡大正村大字古海
鳥取刑務支所